

新しい考え方で 資産の有効活用を



かとう ゆうた
加藤 裕太 議員

Q 市の公共施設の予約は利用日の5日、または3日前までにする必要はある。県内では利用の当日や前日まで予約できる自治体もある。短縮できないか。

A 各施設の窓口を利用する人と申請の手続きに不公平が生じないように各施設の設定管理条例や規則などに合わせて運用しています。

Q まちづくり出前講座の開催実績や利用者の感想は。

A 平成28年度から3カ年の実績は30件、延べ1551人が利用しており、市の防災対策と家庭における防災対策および消費者講座について取り上げられています。また、参加者から、講座の内容は具体的な説明でわかりやすかったとの意見をいただいています。

Q UBERやAirbnb等の便利なシェアリングサービスが世界中で利用

され、シェアリングエコノミーの考え方を取り入れて資産を有効活用している自治体も増えている。香取市ではどうか。

A 国あるいは他市の事例などを参考とし、情報収集に努めながら調査研究を進めていきます。

安心安全のための空家対策を

Q 市内に空家・特定空家は何件あり、何件に対し措置が取られたのか。

A 市内の空き家総数は4080件で、そのうち賃貸用の住宅などを除いた「その他住宅」は2060件あり、特定空き家などの認定件数は令和元年7月末現在86件です。措置は、令和元年7月末現在、累計で現況連絡161件、指導101件、勧告37件、命令24件、行政代執行3件、略式代執行5件、緊急安全措置3件を実施しています。

市の所有する 未利用財産の 今後は



いのうえ とおる
井上 徹 議員

Q 令和元年7月末現在、閉校となっており、利用されていない学校施設は。

A 佐原地区の旧第二中学校、旧湖東小学校、旧伊地山幼稚園、旧佐原学校給食センター、小見川地区の旧小見川南小学校の別棟を除く施設、山田地区の旧八都小学校、旧八都第二小学校、旧府馬小学校、旧第一山倉小学校、旧山倉小学校、栗原地区の旧沢小学校です。

Q 閉校後、数年経過している施設もあるが、活用したいという希望はなかったか。

A 数件の企業から提案はいただいているが、公平性の観点から、原則公募をさせていただきますので、改めて提案いただくこととなります。

Q 一定期間、地元優先に活用方法を募集して利用者が現れなかった場合には、

文科省が進めている「みんなの廃校プロジェクト」に登録してみてもどうか。

A 廃校施設の利活用を図るため広く募集する情報提供の手段の一つとして、みんなの廃校プロジェクトの活用を検討します。

グリーンバスの今後は

Q 来年4月以降、利用人数は何人程度見込んでいるのか。

A 現在と同様に週5日、年間244日の運行とした場合、1日当たり11人、年間2684人程度の利用が想定されます。

Q 運行ルート改善し、利用者を増やすべきだが、九美上付近が終点となっているのはなぜか。

A 九美上から栗原線へ乗り継ぎ佐原市街地へ移動することにより、グリーンバス代替路線と既存バス路線である栗原線

質問事項

- ◆香取市の資産の有効活用
- ◆空家等対策
- ◆交通網の整備

Q 自動運転車の実証実験は行わないのか。

A 自動運転技術が幅員の狭い道路状況に対応できるか、コスト面も踏まえ実証実験が可能なのか研究します。

新技術を取り入れて交通網整備を

Q Maasの考え方を取り入れ、乗り継ぎや接続の利便性向上はできないか。

A 民間の乗り換え案内サイトへ循環バスの情報提供を行っており、適切な結節点の場所を含め現在実施している地域公共交通網形成計画の中で検討します。



自動運転の実証実験用車両

質問事項

- ◆市の所有する未利用財産の今後の利活用
- ◆福田小学校の閉校に伴い、利用されてきたグリーンバスの今後

の共存を考えたところです。

Q 免許返納を考えている人や運行地域に不安のある人に対してアンケートをとれないか。

A 昨年6月に福田小学校区へグリーンバスに対するアンケートを実施しました。



地区住民の協力のもと運行されてきた福田線グリーンバス